

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第73期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

■当期の概要

当連結会計年度における経済状況は、国内景気は穏やかな回復基調で推移したものの、世界的には英国のEU離脱問題、米国大統領交代後の政策懸念により景気の先行きが不透明な状況が続きました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、14,133百万円（前年同期比883百万円、6.7%増）、売上高は13,260百万円（前年同期比163百万円、1.2%減）となりました。

利益面に関しては、原価および販売管理費の抑制等により営業利益113百万円（前年同期比22百万円、25.0%増）と増益となったものの、前連結会計年度の為替差益計上から当連結会計年度は為替差損計上へ転じた影響を主因として経常利益169百万円（前

年同期比100百万円、37.3%減）の減益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益に関しては、前連結会計年度のような大きな特別損失が無かったことから99百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失91百万円）と当期純利益を回復する結果となりました。

財務体質面では、自己資本比率が1.4ポイント増加の45.8%と改善しております。

期末配当につきましては、総合的に勘案した結果、1株当たり2円とさせていただきます。株主の皆様には何卒ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

■来期の見通し

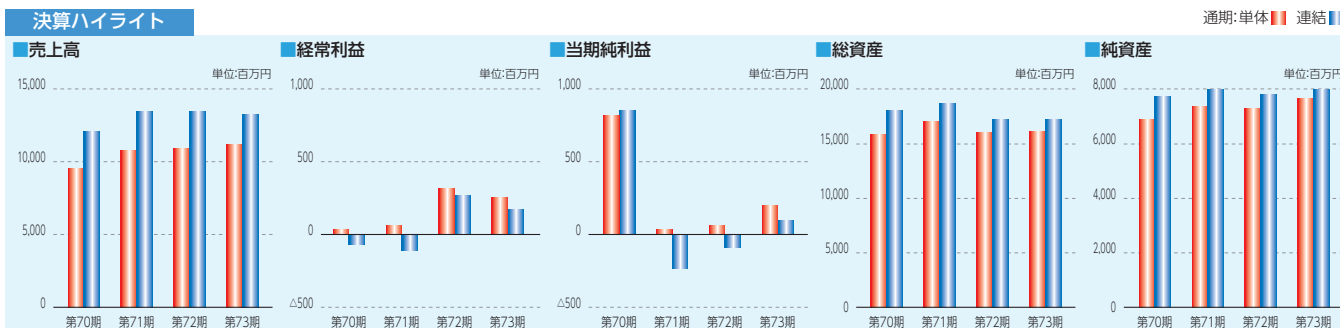
国際政治情勢や地政学リスク等の不透明感はあるものの、半導体や工作機械業界を中心に当社の主要市場分野については足元での着実な景気回復が見られます。またモーター関連市場は自動車の電動化や高効率モーター需要の拡大が続いており、当社の受注や引合も堅調です。

次期の連結業績予想といたしましては、潤沢な期首受注残や当社グループの構造改革の進展を織り込み、売上高14,600百万円、営業利益350百万円、経常利益320百万円、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円を見込んでおります。

次期期末配当につきましては、収益状況、経営環境を勘案し、1株当たり12円50銭（株式併合を実施する前は、1株当たり2円50銭）を予定しております。

単元株式数の変更および株式併合について

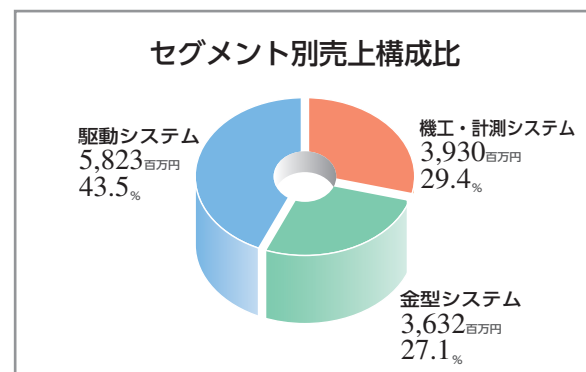
当社は平成29年10月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、5株を1株に株式併合いたします。なお、株主様による特段のお手続きは必要ございません。



■ 駆動システム

当セグメントでは、主要顧客である半導体・液晶市場からの受注が回復傾向となり受注高は、6,132百万円（前年同期比277百万円、4.7%増）と増加しましたが、当連結会計年度後半からの受注回復となったため売上貢献には至らず、売上高5,823百万円（前年同期比194百万円、3.2%減）、営業利益241百万円（前年同期比118百万円、32.9%減）の結果となりました。

売上高 **5,823** 百万円



各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

■ 金型システム

当セグメントでは、車載モーター向け金型や周辺システムの受注に加え、産業用モーター向け金型の受注も順調に推移し、受注高は4,050百万円（前年同期比765百万円、23.3%増）、売上高は3,632百万円（前年同期比311百万円、9.4%増）となりました。売上の増加に加えて、低迷する海外子会社で取り組んだ構造改革の成果により営業利益25百万円（前年同期は営業損失184百万円）と営業利益回復の結果となりました。

売上高 **3,632** 百万円

■ インターモールド2017に出展

4月12～15日、金型関連展示会であるインターモールド2017が東京ビッグサイトで開催されました。今回のインターモールドでは、金型工業会ブースにおける精密プレス製品の展示に加えて、平面研削盤と平面度測定機を単独ブースで出展しました。来場者も目標を上回り、お客様の関心の高さを実感するとともに多くの引合を頂くことができました。精密加工と精密測定技術を強みとする当社独自の価値提供により、お客様のさらなる生産性向上に貢献してまいります。



インターモールド2017ブースの様子

■ クロダプレジジョンインダストリーズ (M) がISO9001を取得

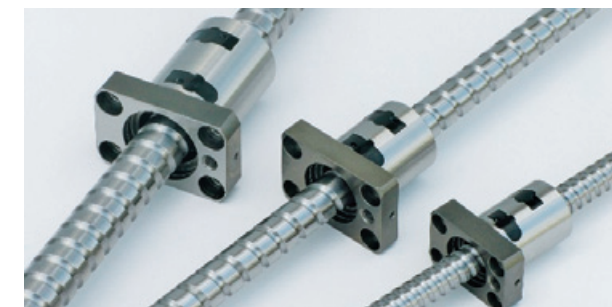
本年5月、マレーシア現地法人「クロダプレジジョンインダストリーズ (M)」(KPM) が品質マネジメントシステムに関する国際認証であるISO9001を取得しました。KPMはレーザーFASTEC®の新しいアプリケーションとして家電用高性能モーターコアの受注に成功し、現在その量産立上げに向けた取り組みを全速力で進めております。今回のISO9001取得は、お客様の厳しい品質要求に応えるために、現地法人と本社の社員が一致団結して共同作業に当たった成果です。今後も当社グループは経営方針である「お客様のために力を結集」を強力に推進してまいります。



KPM：ISO取得を記念した横断幕とともに

■ ボールねじ新商品のご紹介

昨年6月、「新循環方式ボールねじ Aシリーズ」が発売されました。新たに開発したサイドデフレクタ方式の採用により、回転速度が大幅に向上。スピード、負荷、サイズの最適バランスを実現した商品です。また、組立コストの大幅な削減も可能とする設計となっており、近年拡大する自動化市場を攻略する上での戦略的商品と位置づけております。



ボールねじ Aシリーズ

■ 社用車に燃料電池車を導入

昨年11月、本社のある川崎テックセンターにホンダの燃料電池車 (FCV) クラリティが納入されました。燃料電池車は、水素と酸素の化学反応で発電したモーターだけで走る究極のエコカーで、排出するのは水だけです。走行は滑らかな加速で音がせず、まさに最先端の乗り物です。このように当社では、クリーンエネルギーの使用促進を通して環境問題に取り組み、今まで以上に社会に貢献してまいります。



当社に納入された燃料電池車

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流 動 資 産	7,861	8,035
固 定 資 産	9,339	9,128
有 形 固 定 資 産	5,660	5,368
無 形 固 定 資 産	1,429	1,285
投 資 そ の 他 の 資 産	2,249	2,473
資 産 合 計	17,201	17,164
負債の部		
流 動 負 債	5,085	4,895
固 定 負 債	4,337	4,289
負 債 合 計	9,422	9,185
純資産の部		
株 主 資 本	5,996	6,067
資 本 金	1,875	1,875
資 本 剰 余 金	1,451	1,451
利 益 剰 余 金	2,677	2,749
自 己 株 式	△8	△8
その他の包括利益累計額	1,644	1,794
その他有価証券評価差額金	479	698
土 地 再 評 価 差 額 金	821	821
為 替 換 算 調 整 勘 定	281	199
退職給付に係る調整累計額	62	74
非支配株主持分	138	117
純 資 産 合 計	7,779	7,978
負 債 ・ 純 資 産 合 計	17,201	17,164

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日
売 上 高	13,424	13,260
売 上 原 価	10,207	10,035
売 上 総 利 益	3,216	3,224
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,125	3,111
営 業 利 益	90	113
営 業 外 収 益	371	301
営 業 外 費 用	192	245
経 常 利 益	269	169
特 別 利 益	0	0
特 別 損 失	274	15
税金等調整前当期純利益	△4	154
法人税、住民税及び事業税	80	101
法 人 税 等 調 整 額	48	△28
当 期 純 利 益	△134	81
非支配株主に帰属する当期純利益	△42	△17
親会社株主に帰属する当期純利益	△91	99

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	845	784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△844	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179	△809
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	△2
現金及び現金同等物の増減額	△231	△339
現金及び現金同等物の期首残高	2,507	2,276
現金及び現金同等物の期末残高	2,276	1,936

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	6,347	6,533
固定資産	9,667	9,563
有形固定資産	5,142	4,840
無形固定資産	301	271
投資その他の資産	4,222	4,451
資産合計	16,014	16,096
負債の部		
流動負債	4,652	4,404
固定負債	4,093	4,037
負債合計	8,745	8,441
純資産の部		
株主資本	5,967	6,135
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451
利益剰余金	2,649	2,817
自己株式	△7	△7
評価・換算差額等	1,300	1,520
その他有価証券評価差額金	479	698
土地再評価差額金	821	821
純資産合計	7,268	7,655
負債・純資産合計	16,014	16,096

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	平成27年4月1日～平成28年3月31日	平成28年4月1日～平成29年3月31日
売上高	10,883	11,216
売上原価	8,447	8,702
売上総利益	2,436	2,514
販売費及び一般管理費	2,245	2,325
営業利益	190	188
営業外収益	320	277
営業外費用	197	211
経常利益	313	254
特別利益	0	0
特別損失	187	15
税引前当期純利益	126	239
法人税、住民税及び事業税	65	86
法人税等調整額	0	△43
当期純利益	60	195

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概要

(平成29年3月31日現在)

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
創業	1925年(大正14年)
資本金	18億7500万円
従業員数	410名

連結対象会社の状況 (平成29年3月31日現在)

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダイインターナショナル株式会社 クロダプレジジョンインダストリーズ(株) (マレーシア) 平湖黒田精工有限公司 (中国) 永昇電子株式会社 韓国黒田精工株式会社 KURODA JENA TEC HOLDINGS LTD. (英国) Jenaer Gewindetechnik GmbH (ドイツ) Kuroda Jena-Tec, Inc. (米国) Kuroda Jena Tec UK Ltd. (英国) 平湖黒田捷納泰克商貿有限公司 (中国)	株式会社ゲーミング 日本金型産業株式会社

当社グループの主要な事業 (平成29年3月31日現在)

セグメント	主要製品
駆動システム	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ、ガイド、ギア
金型システム	積層精密プレス型、精密金属プレス商品、モーターコア
機工・計測システム	保持工具、ゲージ、平面研削盤、超精密鏡面研磨装置、超精密表面形状測定装置、電子機器、コンプレッサ、スピンドル

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会	毎年6月下旬	三井住友信託銀行株式会社	三井住友信託銀行株式会社
基準日	毎年3月31日	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
記録簿・株簿		証券代行部	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 http://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。	(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
○証券会社等の口座に登録された株式	
郵便物等の発送と返戻に関するご照会	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
支払期間経過後の配当金に関するご照会	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
株式事務に関する一般的なお問合せ	TEL. 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

○特別口座に登録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。

お問合せ先 **0120-782-031** (フリーダイヤル)

[手続き書類のご請求方法]
・インターネットによるダウンロード <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
TEL / 044-555-3800 (代表) FAX / 044-555-3524
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>

